

## 正の数・負の数の大小

**例題** 次の各組の数の大小を不等号を用いて表せ。

(1)  $+9$ ,  $-5$ ,  $-3$

★ポイント

3つの不等式の書き方  
小<中<大

答

(2)  $-0.1$ ,  $-0.01$ ,  $-1$

★ポイント

負の数の大小関係に注意

答

(3)  $-\frac{8}{5}$ ,  $-1.7$ ,  $-\frac{3}{2}$

★ポイント

分数と小数は、どちらかにそろえて比べる。  
分数にそろえると通分が必要成るとめんどうかいので、できれば小数にそろえると良い。

答

**問題** 次の各組の数の大小を不等号を用いて表せ。

(1)  $-2.2$ ,  $-2.6$

答

(2)  $-0.5$ ,  $-0.05$

答

(3)  $-0.3$ ,  $-\frac{1}{3}$

答

(4)  $-\frac{3}{8}$ ,  $-\frac{1}{3}$

答

(5)  $-0.3$ ,  $-\frac{1}{2}$ ,  $-\frac{1}{3}$

答

(6)  $-0.1$ ,  $-\frac{1}{2}$ ,  $-0.01$

答

(7)  $-5$ ,  $+21$ ,  $-1$ ,  $-0.1$

答

(8)  $+1$ ,  $-\frac{1}{2}$ ,  $-3$ ,  $-0.02$

答

## 正の数・負の数の大小

**例題** 次の各組の数の大小を不等号を用いて表せ。

(1)  $+9, -5, -3$

★3つの不等式の書き方  
小<中<大

答  $-9 < -5 < -3$

(2)  $-0.1, -0.01, -1$

★負の数の大小関係に注意

答  $-8 < -6$

(3)  $-\frac{8}{5}, -1.7, -\frac{3}{2}$

★分数と小数は、どちらかにそろえて比べる。  
分数にそろえると通分が必要成るとめんどうかいので、できれば小数にそろえると良い。

答  $-1.7 < -\frac{8}{5} < -\frac{3}{2}$

**問題** 次の各組の数の大小を不等号を用いて表せ。

(1)  $-2.2, -2.6$

答  $-2.6 < -2.2$

(2)  $-0.5, -0.05$

答  $-0.5 < -0.05$

(3)  $-0.3, -\frac{1}{3}$

答  $-\frac{1}{3} < -0.3$

(4)  $-\frac{3}{8}, -\frac{1}{3}$

答  $-\frac{3}{8} < -\frac{1}{3}$

(5)  $-0.3, -\frac{1}{2}, -\frac{1}{3}$

答  $-\frac{1}{2} < -\frac{1}{3} < -0.3$

(6)  $-0.1, -\frac{1}{2}, -0.01$

答  $-\frac{1}{2} < -0.1 < -0.01$

(7)  $-5, +21, -1, -0.1$

答  $-5 < -1 < -0.1 < +21$

(8)  $+1, -\frac{1}{2}, -3, -0.02$

答  $-3 < -\frac{1}{2} < -0.02 < +1$